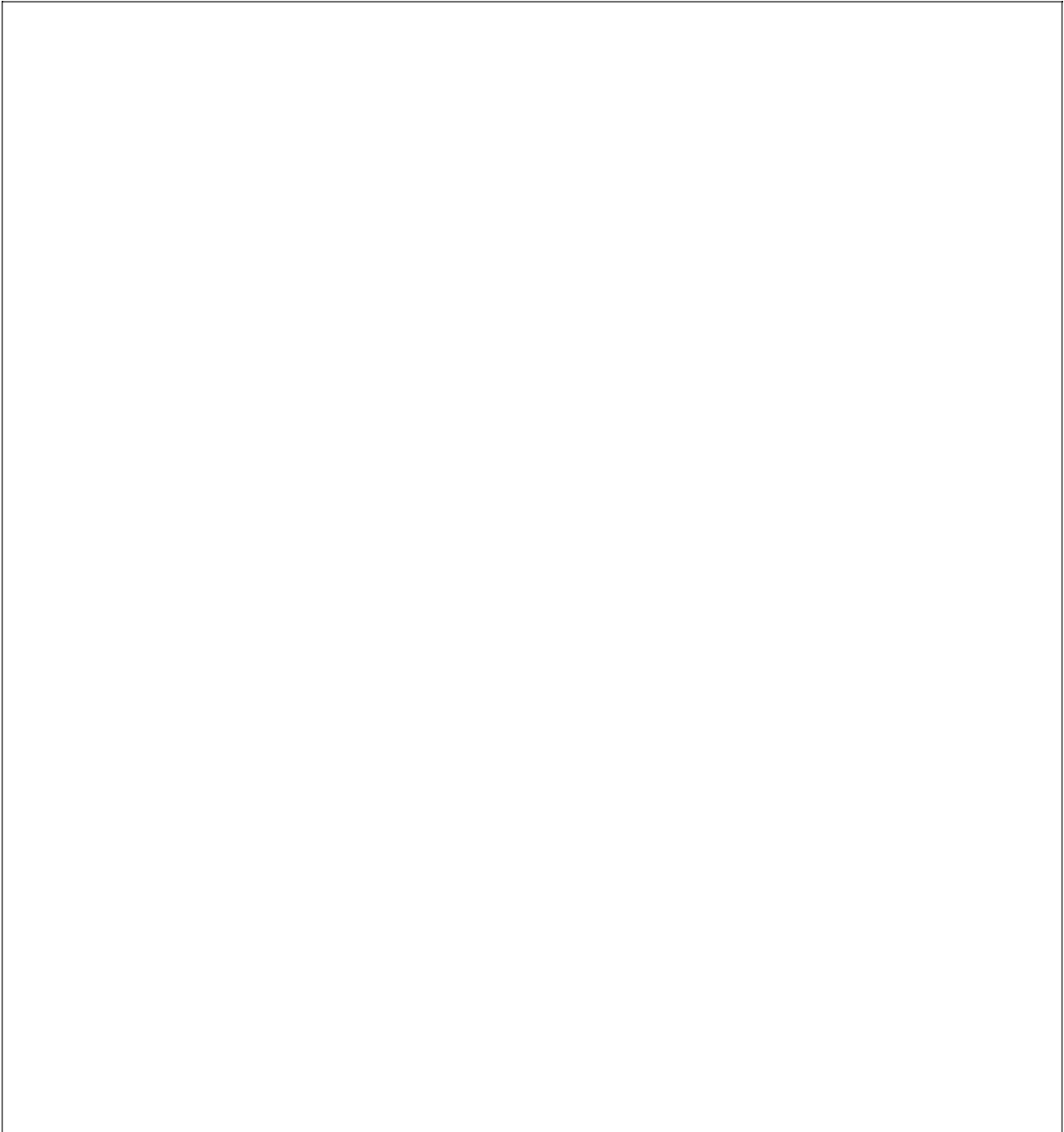


参考

定期報告書の添付書類 （小規模所有者は不要）

住所：
氏名：
農場の名称：

- 1 農場の平面図を記載して下さい。（次の を明示して下さい）
衛生管理区域及びその出入口 消毒設備の設置箇所
明細地図等の添付又は貼付でも可。その際も上記の を記載して下さい。



- 2 必要のない者を衛生管理区域に立ち入らせないようにするとともに、衛生管理区域に立ち入った者が飼養する家畜に接触する機会を最小限とするために講じた措置について該当するものにチェックして下さい。

レ欄	措置の内容
	衛生管理区域の出入口付近に立看板を設置している。
	衛生管理区域の出入口にゲートを設置し施錠をしている。
	衛生管理区域の出入口に監視員を配置している。
	衛生管理区域の出入口にモニターを設置している
	その他（具体的に： _____)

- 3 衛生管理区域・畜舎等の出入口付近に設置した消毒設備の種類について該当するものに _____ をしてください。

消毒設備の設置場所	消毒設備の種類
衛生管理区域	動力噴霧器 ・ 踏込消毒槽 ・ 消毒用マット その他（具体的に： _____)
畜舎	動力噴霧器 ・ 踏込消毒槽 ・ 消毒用マット その他（具体的に： _____)
その他 (_____)	動力噴霧器 ・ 踏込消毒槽 ・ 消毒用マット その他（具体的に： _____)
その他 (_____)	動力噴霧器 ・ 踏込消毒槽 ・ 消毒用マット その他（具体的に： _____)

- 4 畜舎ごとの家畜の飼養密度 ($\text{m}^2/\text{頭}(\text{羽})$) を記入して下さい
 畜舎が複数ある場合には1の平面図に畜舎番号等を付し、それぞれについての飼養密度を記載して下さい。

畜舎番号等	飼養密度 $\text{m}^2/\text{頭}(\text{羽})$	畜舎番号等	飼養密度 $\text{m}^2/\text{頭}(\text{羽})$

計算の考え方：

「家畜を収容している最小単位の区画（畜房・ケージ等）の床面積÷収容頭数」を基本としますが、

ア 区画ごとの床面積や収容頭羽数が同一でない場合には、「農場内の平均床面積÷平均収容頭羽数」により算出する。

イ 同一農場で種豚、母豚、育成豚、肥育豚等を飼養している場合には、それぞれについて算出する。等してください。

5 埋却用地等の確保状況について（馬については記入不要）

埋却用地等の確保の内訳について該当するものに をして下さい。

- ア 自己所有地 設問 へ
イ 借地 設問 、 へ
ウ 確保していない 設問 へ
エ その他（具体的に)

でア、イを選択した場合に御記入下さい。

埋却用地の所在地：

埋却用地の面積：

埋却用地の利用状況：

農場から埋却用地までの距離：

埋却用地の近隣住民その他関係者への埋却の実施に関する説明について

- a 説明 有 ・ 無
b 当該関係者の承諾 有 ・ 無

その他埋却の的確かつ迅速な実施のための参考となるべき事項があれば記載して下さい。

でイを選択した場合に御記入下さい。

埋却用地の所有者の氏名又は名称：

当該土地の利用に関する契約の内容：

埋却用地等を確保していない場合、これらを確保するための取組みについて御記入下さい。

6 大規模所有者（ ）のみ御記入下さい。

担当の獣医師の氏名：

担当の獣医師の所属又は診療施設名：

従業員が農林水産大臣の定める一定の症状を確認した場合に家畜保健衛生所へ直ちに通報することを規定したものの写しを添付して下さい。

大規模所有者とは、次の頭羽数以上の家畜の所有者が該当します。

成牛（次のイ・ロに該当するもの）の場合 200頭以上

イ 月齢が満17月以上の肥育牛（乳用種の雄牛・交雑種の牛に限る）

ロ 月齢が満24月以上のその他の牛

育成牛等（次のイ・ロに該当するもの）の場合 3,000頭以上

イ 月齢が満4月以上満17月未満の肥育牛（乳用種の雄牛・交雑種の牛に限る）

ロ 月齢が満4月以上満24月未満のその他の牛

水牛・馬の場合 200頭以上

鹿・めん羊・山羊・豚・いのししの場合 3,000頭以上

鶏・うずらの場合 10万羽以上

あひる・きじ・だちょう・ほろほろ鳥・七面鳥の場合 1万羽以上